

〈資料〉

2017年度鳥取大学教員免許状更新講習実施状況

田中 浩・安藤晶子

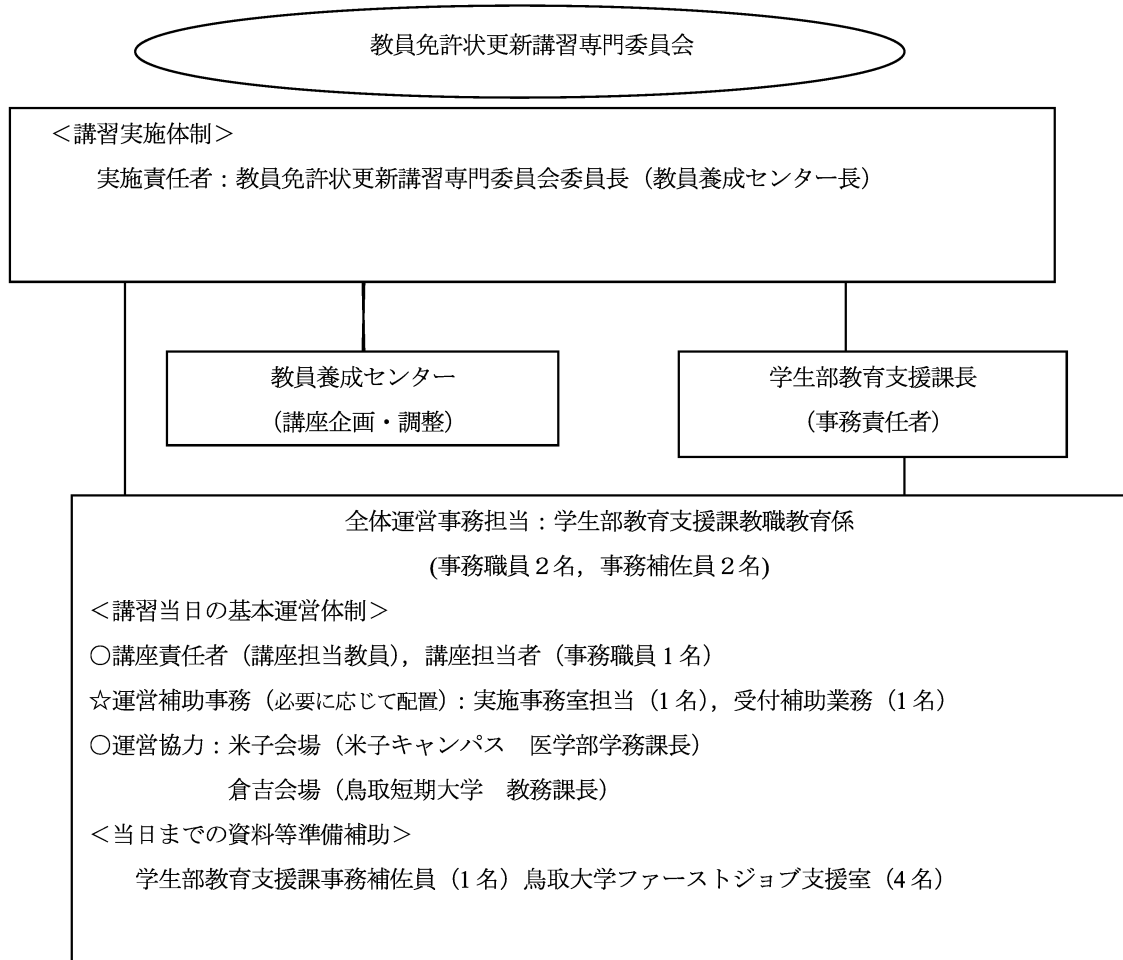
はじめに

2013年2月の大学教育支援機構の組織改組により、教育センター・教職教育部門及び附属学校連携部門を母体に、教員養成部門と附属学校連携部門の2部門を擁する教員養成センターが設置された。教員養成部門では、旧教育センター・教職教育部門から引き続き、教員免許状更新講習の講座企画およびコーディネイトを担当している。担当は、組織改組前(2009年度までは生涯教育総合センター・教職教育部門)の2008年度から10年目となった。

本稿では、2017年度の更新講習の運営体制と受講状況等を取りまとめておく。

1. 運営・実施体制

本学では講習開設にあたり、予備講習実施(2008年度)から全学レベルの教員免許更新講習専門委員会を設置し、運営事務は学生部教育支援課教職教育係が担当している。実施体制としては、本学の教員養成に関する機能強化を目的として設置された教員養成センターにおいて、センター長を中心として講座の企画・調整を行っている。



2. 受講状況

今年度は、鳥取市（鳥取キャンパス）、米子市（米子キャンパス）、倉吉市（鳥取短期大学）、船上山少年自然の家の県内4会場で、必修4講習、選択必修13講習、選択64講習を開設した。全体の受講状況は表1のとおりであった。本学の特色として、地方国立大学であるが、昨年度と同じく、隣接の兵庫県北部や島根県、岡山県など県外からの受講者が371人と、受講者数全体の13.4%を占めている点があげられる。

なお、必修・選択講習別の受講状況は表2、表3及び表4のとおりである。

表1 更新講習受講者全体状況（単位：人）

必修・選択必修・選択合計 (延人数)	受講定員	受講者数	左の内訳	
			県内	県外
	3,765	2,768	2,397	371

表2 受講状況（必修講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	教育の最新事情①	大谷直史	130	128	123	5
鳥取市	教育の最新事情②	大谷直史	180	178	156	22
鳥取市	教育の最新事情③	大谷直史	180	138	102	36
倉吉市	教育の最新事情④	大谷直史	180	101	98	3
		合計	670	545	479	66

表3 受講状況（選択必修講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	教育相談①	小林勝年	60	58	54	4
米子市	学校を巡る近年の状況の変化（米子）	大谷直史	100	60	53	7
鳥取市	異文化コミュニケーション	篠津成一	30	29	23	6
米子市	教育相談②	井上菜穂	60	59	54	5
鳥取市	民衆の道徳／国家・国民の道徳（鳥取）	一盛 真	60	47	37	10

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	民衆の道徳／国家・国民の道徳(米子)	一盛 真	50	13	11	2
米子市	国際理解及び異文化理解教育	兒島 明	40	11	10	1
米子市	児童生徒の心身の発達とその支援	井上雅彦	70	67	64	3
鳥取市	学校を巡る近年の状況の変化(鳥取)	大谷直史	100	98	90	8
鳥取市	様々な問題に対する福祉的な対応の必要性	畑 千鶴乃	40	40	35	5
鳥取市	国際理解教育の実践と、外国にルーツを持つ子どもへの支援	御館久里恵	30	28	12	16
鳥取市	子どもたちの多面的な理解と多様性に対応する指導・支援のあり方	石本雄真	40	40	33	7
倉吉市	小学校外国語活動の基礎と実践	川口康子	40	26	24	2
		合計	720	576	500	76

表4 受講状況(選択講習)(単位:人)

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	基礎から分かる昆虫学(鳥取)	中 秀司	100	100	84	16
鳥取市	「宇宙教育」への招待	三浦政司	20	20	18	2
鳥取市	日本経済の現状と課題	藤田安一	50	36	35	1
鳥取市	地域学入門	柳原邦光	60	17	15	2
鳥取市	【授業実践演習(中学校)】英語	足立和美	15	9	8	1
	【授業実践演習(中学校)】音楽	鈴木慎一朗	15	7	6	1
	【授業実践演習(中学校)】国語	小笠原 拓	15	8	6	2
	【授業実践演習(中学校)】社会	高橋健司	15	3	3	0
	【授業実践演習(中学校)】理科	高橋ちぐさ	15	2	2	0

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【授業実践演習（中学校）】数学	矢部敏昭	15	8	5	3
	【授業実践演習（中学校）】美術	武田信吾	15	2	0	2
	【授業実践演習（中学校）】 保健体育	関 耕二	15	1	1	0
	【授業実践演習（中学校）】 健康教育	谷中久和	15	3	3	0
米子市	医学・生命科学・脳科学の先端研究から学校教育の可能性を探る	岡田 太	40	39	35	4
鳥取市	考古学と関連諸科学による歴史復元	中原 計	40	13	11	2
鳥取市	地域経済の現状と今後の展望	多田憲一郎	50	8	5	3
鳥取市	アメリカ文化と社会	中 朋美	40	24	20	4
鳥取市	森林と人間（鳥取）	佐野淳之	30	29	26	3
鳥取市	生物多様性を中心に郷土の自然を考える－博物館を活用して－	永松 大	20	15	13	2
鳥取市	【幼児教育実践演習】	塩野谷 斉	20	19	16	3
鳥取市	暮らしのなかの生化学	明石欣也	32	32	27	5
鳥取市	新しいものづくり・技術教育の理論と実践	土井康作	20	17	14	3
鳥取市	フランスにおける国家と宗教の関係史	柳原邦光	60	6	5	1
米子市	日南町内の地質の観察	菅森義晃	8	8	8	0
米子市	新しい算数教育の理論と実践	矢部敏昭	30	15	15	0
鳥取市	憲法学入門Ⅰ【総論編】	佐藤 匡	20	20	17	3
鳥取市	憲法学入門Ⅱ【各論編】	佐藤 匡	20	20	20	0
鳥取市	地域の美術史	筒井宏樹	30	7	4	3
鳥取市	民法学入門Ⅰ【財産編】	佐藤 匡	20	20	16	4

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	地域の歴史を発掘するー近世・近代における地域の「偉人」たちー	岸本 覚	30	22	20	2
鳥取市	民法学入門Ⅱ【家族編】	佐藤 匡	20	20	17	3
鳥取市	新しい中学校理科の理論と実践	高橋ちぐさ	30	11	9	2
鳥取市	新しい国語科の教材づくり (中学校・高等学校編)	小笠原 拓	40	15	11	4
鳥取市	マーケティング入門：＜顧客＞の声を聴く	白石秀壽	40	14	13	1
鳥取市	18歳選挙権と主権者教育ー有権者としての意識・行動の観点からー	塩沢健一	40	14	12	2
米子市	新しい国語科の授業づくり (小学校編)	小笠原 拓	40	24	23	1
鳥取市	新しい家庭科教育の理論と実践	福田恵子	25	17	16	1
鳥取市	水と人間	清水克之	30	23	19	4
鳥取市	自然災害と防災・減災について	黒岩正光	20	20	20	0
鳥取市	世界の諸都市の特徴と課題	山下博樹	40	28	22	6
鳥取市	楽しい造形表現の実践～教材づくりと活動内容の設定～	武田信吾	30	30	23	7
鳥取市	新しい音楽教育の理論と実践	鈴木慎一朗	20	20	16	4
鳥取市	日本の古典文学	久保堅一	40	16	10	6
鳥取市	子どもと創るダンス・動き遊び	佐分利育代	30	29	25	4
船上山少年自然の家	自然体験の理論と実践	大谷直史	20	20	19	1
鳥取市	食べ物と健康	渡邊文雄	40	39	33	6
鳥取市	地球環境と暮らしを守る化学	増井敏行	60	6	5	1
鳥取市	私たちの身の周りの放射線	山野好章	30	12	8	4
鳥取市	ご地層を見る	菅森義晃	8	8	7	1

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	英語ライティング指導の理論と実践	滝波稚子	30	18	13	5
米子市	教員が知っておきたい生徒の健康：とっさの時の対応と心肺蘇生法の新しい教育法の紹介	本間正人	50	50	47	3
鳥取市	但馬のご地層を見る	菅森義晃	8	8	3	5
倉吉市	世代のここをつなぐ生涯発達心理学の新展開	南 潮	40	40	40	0
米子市	新しい書写教育の理論と実際	住川英明	30	29	29	0
米子市	基礎から分かる昆虫学（米子）	中 秀司	80	73	66	7
倉吉市	表現しよう～歌で伝える心～	白石由美子	25	23	22	1
鳥取市	からだきづき・からだほぐし	佐分利育代	40	39	35	4
倉吉市	特別支援教育と生涯発達支援～乳幼児期と青年期に注目して～	國本真吾	40	39	37	2
鳥取市	ピア・ラーニング（協働学習）による授業デザインー理論と実践の方法ー	池田玲子	50	38	28	10
鳥取市	きのこ学入門ー「きのこ」という生き物をやさしく理解するー	早乙女 梢	35	33	23	10
鳥取市	地域と学校における健康と体力ー楽しく走る・歩くー（鳥取）	関 耕二	40	39	35	4
鳥取市	表現につながるからだあそび	木野彩子	30	16	14	2
鳥取市	鳥取砂丘の教育活用をめざしてー地理・地学編ー	小玉芳敬	24	22	15	7
鳥取市	現代日本の財政危機と財政改革の展望	藤田安一	50	32	24	8
米子市	森林と人間（米子）	佐野淳之	30	30	27	3
鳥取市	【授業実践演習（小学校）】音楽	鈴木慎一朗	15	5	5	0
	【授業実践演習（小学校）】外国語	足立和美	15	11	7	4
	【授業実践演習（小学校）】国語	小笠原 拓	15	7	7	0
	【授業実践演習（小学校）】算数	矢部敏昭	15	10	6	4
	【授業実践演習（小学校）】図画工作	武田信吾	15	1	1	0

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【授業実践演習(小学校)】生活	高橋千枝	15	3	3	0
	【授業実践演習(小学校)】社会	高橋健司	15	3	3	0
	森林と人間(倉吉)	佐野淳之	30	29	29	0
倉吉市	子どもたちに関わる現代的な問題とその対処	石本雄真	40	39	36	3
鳥取市	地域と学校における健康と体力ー楽しく走る・歩くー(米子)	関 耕二	40	36	29	7
米子市	ドローンで探る鳥取砂丘オアシスの謎	齊藤忠臣	20	20	15	5
鳥取市	子どもたちの指導・支援に活かす認知行動療法ー論理的方法による生徒指導ー	石本雄真	40	40	39	1
鳥取市	【特別支援教育実践演習】知的障害のある子どもの理解と支援	三木裕和	20	18	14	4
鳥取市		合計	2,375	1,647	1,418	229

3. 今後の講習運営に向けて

今年度の講習運営を振り返り、講習運営に関して効果のあった点、困難だった点、及び今後の検討課題を簡単にとりまとめておく。

(1) 運営上の効果があった点

- ・必修講習は、例年と同じく東部地区(鳥取市)・西部地区(米子市)・中部地区(倉吉市, 鳥取短期大学)で開設し、地理的バランスがとれた。
また、受講見込み者数の関係から、東部地区では例年どおり2講習開催し、需要に応えることができた。
- ・選択講習は、64講習開設した。受講者数の少ない講習もあったが、おおむね受講生からの評判も良く、需要に応えることができた。
- ・必修講習については、引き続き、ざぶとん、ひざかけ(選択講習については、受講生に持参することを促した)を準備する等、教室の座席等の環境改善に一定の効果があった。
- ・受講者の駐車スペースの確保について、必修講習や受講者の多い選択必修講習、選択講習は土日祝日開催とし、鳥取キャンパスでの講習(平日開催分)については、受講者に対して、できるだけ公共交通機関を利用して来学願うことを周知したので大きなトラブルはなかった。

(2) 運営上、困難だった点

- ・台風の接近で講習を開催すべきかどうか判断が難しい点があった。
- ・教室外で行う講習の期日設定(季節や天候との兼ね合い)が難しかった。

- ・暑い時期，寒い時期の講習で空調の準備等がうまくいかない講習があった。
- ・入学試験や大学祭等のイベントと開催時期が重なったため，運営が難しいことがあった。

（3）今後検討が必要な点

- ・講習中の緊急時対応（特に災害や休日に急病人が出た場合）の速やかな対応が必要である。
- ・受講者の駐車スペースの確保について，必修講習や受講者の多い選択必修講習，選択講習は土日祝日開催とし，鳥取キャンパスでの講習（平日開催分）については，受講者に対して，できるだけ公共交通機関を利用して来学願うことを周知するとともに，受講者専用の駐車スペースを確保する等，対策を講じたい。
- ・米子キャンパス（医学部）での講習の際は，駐車スペース確保の検討や，講習を行う棟の周知を徹底する必要がある。

田中 浩（鳥取大学 学生部教育支援課教職教育係）

安藤晶子（鳥取大学 学生部教育支援課教職教育係）